

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	道水路確定測量事業	所管	道路公園部 建設総務課
			TEL 2998-9171

事業の目的 (何の為に 行うか)	道水路確定測量事業を実施し、確定図面を整備することによって、生活道路の後退、拡張、舗装工事、災害後の境界の復元など、道路整備に反映できる。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	国土調査面積	対象とした数	37	km ²
		実際に 利用した数	31	km ²

活動の内容	(何を したか)	国土調査が完了した区域で、都市基準点を用いた境界点測量を実施し、道水路境界の確定図面を整備する。							
活動実績	項目名	確定面積(単年度 確定面積)	1.02	項目名	確定累計面積	30.94	項目名		単位
		単位	km ²			単位	km ²		単位

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	9,435	8,820	19,153	56.5

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	国土調査完了地域における 確定測量実施率	目標値: 国土調査面積 実績: 確定累計面積	37.49	30.94	82.5
			単位 km ²	単位 km ²	単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕							
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止							
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了							

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了								
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕 終了							
	予算	現状どおり 増額 減額 終了							

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	070100	TEL	2998-9171
事業コード	道水路確定測量事業		道路公園部 建設総務課			
070101		グループ	境界			
開始年度		昭和 53 年度	→	終了年度	平成 年度	

事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令		
分野別計画・指針	所沢市総合計画・安心安全で快適な住みよいまち(都市基盤の整備)			道路法第28条及び同法施行規則第4条の2並びに所沢市公共測量作業規程(建設省管技第93-2)による		
関連・類似事業						
総合計画の体系	政策	第2章 安全・安心で快適な住みよいまち	施策	3節 道路	中柱	1 道路計画の推進
					小柱	*****
		・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 10 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○		
行政改革大綱における行動計画への位置づけ						
コード	組織マニフェストの導入		コード			
2211			コード			
事業開始の背景	道路法では、道路管理者はその管理する道路の台帳を調整し、これを保管しなければならないこととなっており、国土調査完了地域の道水路確定測量を計画的に実施し、境界の明確化を進める必要があった。					

③事 業 の 内 容	目的(何のために行か、具体的に)							
	道水路確定測量事業を実施し、確定図面を整備することによって、生活道路の後退、拡張、舗装工事、災害後の境界の復元など、道路整備に反映できる。							
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方				
	国土調査面積			確定累計面積				
	対象数	単位	平成 18 年度	37.49	km ²	平成 18 年度	29.92	km ²
			平成 19 年度	37.49	km ²	平成 19 年度	30.94	km ²
事業の具体的な内容及び実施方法								
国土調査が完了した区域で、都市基準点を用いた境界点測量を実施し、道水路境界の確定図面を整備する。								

④前 年 評 価 と 改 善 点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性) << 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input checked="" type="checkbox"/> 二次評価 >>					
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])				
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input checked="" type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
平成19年度中に改善した点						
確定測量の現地調査前に隣接土地所有者に対し、協力依頼を行い、円滑な測量業務が行われるようにした。						

⑤経 費	《会計種別》		一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)
	当初予算			16,000	9,435	7,980
	決 算 (見込み含む)			15,034	8,820	
	(嘱託職員) (臨時職員)		(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費			0.50 人	4,600	1.10 人
	公債費					
	事業費合計			19,634	19,153	
	財源内訳					
	一般財源			19,634	19,153	7,980
	国・県支出金					
受益者負担金						
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)			58.1	56.5		
利用数一単位あたり(単位:円)			656,216.6	619,049.8		

⑥指 標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	確定面積(単年度確定面積)	km ²	0.65	1.02	0.34	
		確定累計面積	km ²	29.92	30.94	31.28	
	成果分析	国土調査完了地域における確定測量実施率	目標値:国土調査面積 実績:確定累計面積	km ²	目標値 37.49 実績 29.92	37.49 30.94	37.49
			%	達成率 79.8	82.5		1

⑦一 次 評 価	評価項目	現 状 評 価	評価項目	現 状 評 価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 見直しの必要性 市 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 見直しの必要性 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	国土交通省が、平成16年度から平成18年度に実施した「都市再生街区基本調査」により設置された「都市基準点」が、平成 19年4月に市に移管されたことに伴い、法務局では、土地の分筆等において公共座標を用いないと登記を認めない方針を示している。本事業の確定図は、これに対応できる世界測地系座標で整備していることから、土地利用の基礎資料として重要性が増した。		
⑧二 次 評 価	平成20年度における目標設定	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)
		予算について、適正な執行を行う。	年度末までに完了させる。	年度末
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
評価理由				
道水路境界が確定している地域は、市全体の面積の約60%となっており、早期に完了することが望まれるが、当事業には多額の費用を要するため、近年の財政状況の硬直化等を考慮しつつ、計画的、効率的に事業を推進していかなければならない。				
評価日		平成20年5月27日	記入者職氏名	建設総務課主幹 北田 克

⑧二 次 評 価	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性						
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨個 別 計 画 に お け る 方 向 性	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
			市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
								<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業

⑨個 別 計 画 に お け る 方 向 性	◎環境基本計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	施策の体系		施策の方向					
	◎次世代育成支援行動計画		本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード			
	基本目標		主要課題					
施策の方向								